

「女性のエンパワメントで高める地域の防災力 リーダー育成事業」採択団体一覧

	団体本拠地	事業対象地域	団体名	事業名	事業概略・採択理由	助成予定額	内訳 (事業費) 上：管理的経費 下：直接事業費	内訳 (評価関連経費)
1	青森県	青森市 八戸市	一般社団法人 男女共同参画地域みらいねっと	女性防災リーダー養成プログラム	事業概略 青森市および八戸市において、これまで取り組んできた実績を生かし、「防災・減災」と「女性のエンパワメント」の視点を組み合わせたプログラムを実施し、女性リーダーの育成を図る。育成と併せ、ローカルテレビ番組制作・放映や「女性のエンパワーで高まる防災・減災会議」開催による本事業の地域内の浸透・拡散を実施する。	22,344,000	2,640,800	1,064,000
					採択理由 社会的・経済的・地理的な条件の異なる2地域で、行政からの委託や補助金では到達できない女性防災リーダーネットワーク構築を目指した、民間ならではの事業である点が高く評価された。特に、青森市における指定管理事業、理事の男女共同参画に係る活動実績から、本事業の目的達成に向けた主体的コミットメントが期待できる点も高く評価された。		18,639,200	
2	福島県	調整中	認定特定非営利活動法人 いわき放射能市民測定室たらちね	防災・減災にかかる女性のリーダーを創出する事業	事業概略 2011年の東日本大震災は地震・津波・原発事故が同時に起きた複合災害である。地震や火山国であり、海に囲まれ原発にも囲まれている日本では、今後も同様の災害が起きる可能性がある。この緊急かつ重篤な問題が重なる支援の場で、女性の思考の柔らかさやコミュニケーション能力の高さを十分活用することができるよう、女性のエンパワメントを高め準備しておく必要がある。東日本大震災以降「たらちね」は女性を主体とした形で複合災害の厳しい現場で市民科学を追求し活動を継続してきた。本事業では、「たらちね」の経験を活かし、同様の災害発生時に役に立つ女性リーダーの育成を目指す。	31,132,500	1,550,000	1,482,500
					採択理由 東日本大震災の発災以降に起きた状況、復興過程の取組み、並びに近年の台風被害等、幾多の災害や困難に対応する各種事業、及びそのプロセスで直面した状況を踏まえたプログラム設計について高く評価された。特に、放射性物質という目に見えない不安に対処するための正確な知識を市民科学の観点からいくことの意義が高く評価された。		28,100,000	
3	愛知県	東海地域 6市	一般社団法人 こども女性ネット東海	本気の力！！日頃よりこども女性目線で、誰もが「たすかる活動」を	事業概略 女性の地域とのつながりを強化し、いざという時にその力を発揮できるようになることを目指す。マニュアルだけではなく防災・減災の知識習得を通じて、地域からの信頼を得て、想定外のことが発生しても、現場を見て分析・判断し、多様で多彩なひとに配慮しながらも行動できる人材を育成する。また、セミナーの修了生と専門家・他地域の実践者等とのネットワークと伴走支援により、継続的な勇気を醸成し、課題があるも前に進む問題解決力を引き出し、その挑戦を応援とともに、修了生が地域を変えていく原動力になることを後押しする。	31,500,000	4,500,000	1,500,000
					採択理由 子ども×女性×災害を軸に長年活動を続けてきたリーダーが集まった団体として、フォーラム、研究会、そして女性リーダーの育成研修の実践、並びに基礎自治体や県等の行政との連携関係も広範に構築されているなど、組織としての経験と実績等が評価された。今回の事業も、過去の助成リーダーの研修実績を踏まえ、本事業においても企画・実施計画が実践的でシスターフッド（女性同士のつながり）の醸成や、個別の伴走支援の実施などが特に高く、採択に至った。		25,500,000	
4	大阪府	大阪市	一般財団法人 大阪市男女共同参画のまち創生協会	地域エコシステムにつなげる地域防災女性ファシリテーター養成事業	事業概略 大阪市において「大都市における防災力」、「女性及び多様性の視点」を高め、「地域発展の新しい枠組み」として『女性を核とした地域エコシステム』を創る。コアとなる人材として「地域防災女性ファシリテーター」を養成し、災害弱者も含めた誰もが地域の担い手となる地域エコシステム創造につなげていく。	24,360,000	0	1,160,000
					採択理由 大阪市において長年複数の男女共同参画センターを運営している経験を活かし、従前から持つ地域防災へ課題意識、女性リーダー育成への高い意欲に裏打ちされたプログラム設計が評価された。防災の専門家である林氏と共に、本事業における地域課題感、人材育成像、そのための事務局としてのフォローイメージを作り上げている点が特に高く評価された。		23,200,000	

	団体本拠地	事業対象地域	団体名	事業名		事業概略・	助成予定額	内訳 (事業費) 上：管理的経費 下：直接事業費	内訳 (評価関連経費)
5	愛媛県	宇和島市	特定非営利活動法人 U.grandmaJapan	南海トラフに備えた女性リーダーと 防災協働社会へのつながりづくり	事業 概略	平成 30 年 7 月豪雨での甚大な被害を経験したが、発災後に子ども、高齢者の課題にコミュニティ支援を推進してきたのは、「女性」が立ち上げた NPO 団体であった。この様な「女性」からコミットできる支援テーマ(一人親家庭・子どもの貧困、高齢者の孤立、高齢化や新型コロナの影響による地域内でのコミュニティ活動の衰退 等)を検討しつつ、地域課題に取り組むプレーヤー・リーダーの育成を実施する。また、有事はもとより平時から多様な問題を女性視点で自分ごと化でき、配慮ができるリーダーを育成し、女性が活躍できる地域を目指す。	27,688,500	1,250,000	1,318,500
					採択 理由	西日本豪雨緊急災害支援から平時の防災の取り組みへと移行するタイミングであり、女性防災リーダーの育成とそのネットワーク形成に取り組む事業内容が高く評価された。地域の市民活動の中核的存在であり、宇和島NPOセンターとのつながりも深く、ネットワークのハブ的存在として、宇和島市内外のネットワークに有機的につながり、地域防災力の向上へとつながっていくことが期待され、高く評価された。		25,120,000	
6	高知県	高知県	公益財団法人 こうち男女共同参画社会づくり財 団	女性防災プロジェクト	事業 概略	高知県内全域で女性リーダーの育成を目指し、県中部・東部・西部の各地域で子育て世代の参加も配慮した育成事業を実施する。研修者以外にも地域への広範な理解促進を深めるため、広報特番を制作・放送し、行政や地元団体を巻き込んだフォーラムを開催により、地域理解の促進と連携を深める。研修の修了者に対しては、学生・性的少数者団体等とも連携した防災講座開催等、終了生グループによる地域活動を実施する他、財団事務局にハブ機能を設け、修了生活動フォローや課題に広範に対応する。	25,725,000	2,214,000	1,225,000
					採択 理由	高知県において長年複数の男女共同参画センターを運営している経験を活かし、地域防災へ課題意識、女性リーダー育成に掛る取組みと公的資金では実現できない事柄を実施したいという高い意欲に裏打ちされたプログラム設計が評価され。ハードな防災の取り組みが進む一方で、ソフト面での進展に課題を定義し、広報、フォーラムの開催、研修の実施、修了者フォロー等においても既存の資源を効果的に活用する意欲的な事業設計となっており、県内の3地域で事業を行う点も地域間格差を解消していく取組みとしてあわせて高く評価された。		22,286,000	
7	熊本県	益城町 及び近隣	有限会社 ミュージプランニング	もと女性防災リーダー育成プロジェクト	事業 概略	これまでの熊本での災害時に足りていなかった「災害時における女性の視点」を今後の防災・減災活動に活かし、日常の地域づくりにおける女性視点を定着させるため、発言力と行動力のある女性リーダーを発掘・支援・活動支援するためのリーダー養成講座を実施する。 女性リーダー人材ネットワークの構築し、万が一再び災害が発生した場合にも、自ら動き助け合うことのできるレジリエンス力の高い地域を目指す。	26,250,000	1,747,850	1,250,000
					採択 理由	熊本県において長年にわたり男女共同参画事業を企画・運営してきた経験を活かし、地域防災へ課題意識、特に熊本地震における経験に基づく女性リーダー育成に掛る強い意欲と、これまでの女性のリーダーシップ育成等の経験を活かした意欲的なプログラム設計が高く評価されました。特に熊本地震発生時に地域の女性たちに向き合いながらの気づきを含む豊富な経験と知見を今回の企画に活かし、修了者への多様な学びの機会を含むもので強い期待が寄せられました。		23,252,150	
8	鹿児島県	鹿児島市	特定非営利活動法人 フードバンクかごしま	性向けの地域防災リーダー育成事	事業 概略	熊本地震他の災害支援の実体験から、災害が起きた際の柔軟な避難所運営と必要となる人材の育成計画を企画、鹿児島地域における防災・減災活動の現状をふまえた効果的な事業をめざす。その他、地域に根差した危険個所の気づきと減災活動、避難所運営に女性目線をいれることでの地域の意識醸成など、地域の取組みと人材育成を目指す。	31,500,000	2,185,500	1,500,000
					採択 理由	平時の地域の暮らしの延長に災害があるという視点を持ち、また災害支援の現場から見えてきた課題を女性の防災リーダー育成で解決するという視点が高く評価されました。特に、明確な問題意識と鹿児島市内の状況理解、参加者を3世代にわたっての広報をする点など非常にユニークで今後の事業展開に高い期待が寄せられました。		27,814,500	

※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております